

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| | | | |
|------|-----------------|-------|-----------------------------|
| 事業所名 | 児童発達支援センター くるみ園 | 公表日 | 2026年 2月 25日 |
| | | 利用児童数 | 2026年 2月 25日現在 38世帯38名在籍 |
| | | | 回収数 100% |

| | チェック項目 | 回答 | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------|-----|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 37 | 1 | | | ・園庭やプレイルームも丁度良い広さでのびのびと遊ぶことが出来ています。行事をホールですると、少し手狭かもしれません。 | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 35 | 1 | | 2 | ・言語聴覚士がいると助かる。 ・配置数には問題ないが、専門性には個人差がある。 ・ちょうどいいとは思いますが、元気のクラスは大変そうだなとも思います。 | ・加配保育士を配置しています。 |
| | 3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 36 | 2 | | | ・子どもが分かる方法で視覚的支援を用いて関わって下さっている。 | ・子ども達が自分分かって動けるための構造化が十分に配慮されているかについては、もっと学んでいきたいと覆います。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 35 | 3 | | | ・子ども達が片付けが積極的に行える感じではないのでどうしても先生方に負担がかかっている。 ・いつも清潔に保たれていて、先生たちが綺麗なお掃除してくれているのが伝わってきます。 ・給食後も床等掃除して下さり、綺麗な環境を作ってくれています。 ・我が子は排泄の失敗をしますが、先生たちが忙しい中であっても優しく清潔にして下さる。お部屋もいつもきれいに保って下さっています。 | ・笑顔と清潔感、気持ちの良い挨拶を全職員が事業所のモットーとして掲げ、その方針に従って業務を行うことを大切にしています。 |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 38 | | | | ・支援の個人差はありますが、皆さま親身になってくださり、一生懸命頑張ってくれているのが分かります。 ・子どもの特性を良く理解してくれている。 ・いつも「〇〇ちゃん、こでしたよ」と稱賛して下さっています。 | ・現状に満足することなく、一層高いレベルの発達支援が提供できるよう研鑽して参ります。 |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 37 | | | 1 | ・個々の能力に合わせて頂いており、申し分ありません。 | ・スレが生じることのないように、都度アセスメントを心がけたいと思います。 |
| | 7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 38 | | | | ・月1回の母子プレーでは毎回しっかり話を聞いて下さり、課題も考えて下さっていると感じています。 | |
| | 8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 38 | | | | ・今困っていることを計画に入れてもらえているので改善策と一緒に考えて下さり有難い。就学に向けて必要な事、出来るようになる日常生活がよりスムーズになるような細かなところまで支援して貰っています。 | ・書式が令和6年度に大きく変わり、書式にまだ不慣れな部分もありますが少しでも活用しやすくなるよう、適宜改訂したいと思います。 |
| | 9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 37 | | | 1 | ・一人一人の発達段階に適した支援により、小さな成長も感じる事が出来て感謝しています。 | ・丁寧なアセスメントを心がけながら、お子さんの育ちに適した関わりを行いたいと思います。 |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 37 | | | 1 | ・毎月のクラス日より見ていると、いろんな遊びを経験させて下さっていると感じています。スイミングもとても良い経験になっています。 ・高活動とは別にグループも編成されていてバリエーションが豊かです。季節感を味わえる遊びも楽しそうです。 | |
| | 11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。 | 36 | 1 | | 1 | ・月1回帰省保育園と合同遊戯があり、一緒に色々な遊びを経験させて頂いています。 | ・一人でも多くの子も地域の子もたちとの交流が楽しめるよう、工夫を凝らしたいと思います。 |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 38 | | | | ・変更が生じた際には、必ず説明して下さっています。 ・5月に毎年「そだち」の講座がある。今年は児童発達から丁寧に説明がありました。 | |
| | 13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 38 | | | | ・各学期ごとに総括や支援内容の詳しい説明が担任の先生だけではなく、相談員の先生にも同席して頂いて聞くことが出来ています。 | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 36 | 2 | | | ・家庭での遊びごとやごんごんがあったなど、電話で気軽に発達相談を受けたい時がある。 ・母子プレーはとて有意義な時間になっています。 ・子どもの今が関わる貴重な時間です。一緒に登園すること子どもも喜んでくれています。 ・毎月の母子プレーが楽しみです。1つだけ思ったのは、「母子プレーの記録」の紙の右下の保護者記入欄を記入したもののコピーを園と家庭で保管できるようにすると、あとあと「リレーファイルきずな」にはさんだ時に振り返りになるし、園と家庭で共有できるのになあと思いました。 ・今年の母子プレーは実践的でとても気合が入っていました。3年間受けてみて先生方の個性が光る素敵な時間でした。さいな話にも目をかけて下さり有難いです。 | ・職員一人一人の支援力向上を目指してまいります。 |
| | 15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 35 | 3 | | | ・とても親身になって頂き、相談に乗って頂いたり、園の様子も細かく教えて頂いています。 ・親である私たちと近い考えを持って下さっていて、感謝しています。 ・母子プレーの毎月の目標に関して、昨年は先生と親の意見交換が上手にできて納得いくものであったが、今年は親も少なかつたのか、親の希望ではなく先生の考え中での目標が優先されているように感じている。子どもの事は真剣に考えて下さっているのは伝わりますが、コミュニケーションが少なかつたように思います。 | ・緊急な状況が起こらないよう努めて参りますが、万が一の際には迅速に対応できるように、心がけて参ります。 |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 35 | 3 | | | ・母子プレー以外でもゆっくりに相談できる時間を設定して欲しい。 ・保護者が参画していることに興味を持っている声掛けが少ない。 | ・皆様の子育ての伴走者として、お付き合いさせて頂きたいと思います。 |
| 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 38 | | | | ・先生たちのおかげで何でも心が救われている。 | ・皆様の子育ての伴走者として、お付き合いさせて頂きたいと思います。 | |

| | | | | | | | |
|---------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。 | 32 | 5 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> 保護者のラインが適切なかわからない。同じクラスの保護者が共感できる雰囲気があればそれだけでいいと思う。個人情報問題もあるのどこまで踏み込んでいいかわからない。 時々、保護者同士大変そうに感じることがあるが、自分の子どものクラスは平和と思う。 父母の会の活動には、いつも先生方が協力的に寄り添って下さっていると感じています。座談会や施設見学はとも有意義な時間だと感じます。 | <ul style="list-style-type: none"> ・昨今の様々な事情を考慮しながら、負担が大きくなりすぎない方法で父母の会活動のサポートを行っています。 |
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 32 | 4 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長は勿論ですが、親自身もモラルなど勉強して子どもと一緒に成長していきたい。 ・イベント後のアンケートなどで、もし苦情が出てきたらどうなるような工夫がされていると思います。先生方にも聞いて頂ける姿勢があります。 | <ul style="list-style-type: none"> ・周知説明については、5月の「そだち」講座でしていませんでした。次年度以降はご説明させて頂きたいと思いますが、いつでも相談対応できる態勢はご用意できております。 |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 37 | 1 | | <ul style="list-style-type: none"> ・毎月のお便りなどから丁寧に聞いてもらえていることが伝わってきてとても安心しました。小さな悩みも相談しやすく、日常の様子を伝えることが出来て良かったです。 | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 36 | 2 | | <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の園だよりは楽しみにしています。ホームページに写真が掲載されなくなっただけ残念ですが、定期的に写真データを下さるので様子分かっています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ上での写真の掲載につきましては、個人情報等の保護の観点から控えさせていただきます。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 35 | 2 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・他の子どもの荷物が入っている時がある。 ・以前にもまして厳重になった印象です。SDカードなども手渡しなど徹底されていて配慮されています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・全職員福角会入職時に個人情報保護に関する誓約書を交わしております。 |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 35 | 2 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・Macメールのこと等、懇話会の後に周知して下さるので、気になる質問ができてきたと思います。 ・安全計画書が配布されて説明がありました。ルールがしっかりされているようで、安心感があります。 | <ul style="list-style-type: none"> ・すべて実施しております。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 37 | | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の時、すぐくさばきと行動されていて、また地震や水害などを想定された訓練もされていて良かったです。 ・定期的に様々な訓練がされています。保護者への引き渡し訓練はもっと実践的にした方がいいかなと感じました（サインを簡潔にするなど）。 | <ul style="list-style-type: none"> ・月1回必ず実施しております。引き渡し訓練も年1回実施しております。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 37 | | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・太鼓橋などに子どもが上っている時に目を離さないで欲しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・園庭でのお子さんの活動については、しっかりと子どもさんの行動把握を行いたいと思います。見ているだけならぬよう、様々な活動に大人が介入しながらお子さんを安全な環境で活動できるように、引き続き留意していきたいと思います。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 37 | | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・小さな怪我でも担任の先生が丁寧に教えてくれる。 ・毎回必ず子どもが帰ってくるまでに詳細を伝えて頂いている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者様へは早急にご報告させていただきます。 |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 38 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども自身が本来の自分を出せた。 ・先生への信頼感は子どもを通じて伝わってきます。 ・子どもは第2の居場所と云えるほど安心して通えています。 | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 35 | 2 | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・とても楽しそうにしています。 ・安心して預けられています。 ・くるみ園が大好きです。 ・バスを乗るときもありますが、行けば楽しいことは分かっています。楽しそうに身体を動かしています。 ・嫌がる場所を見ることがありません。 ・一緒に登園した時に、リュックをママに預けて走り回りたい姿には感動しました。 | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 38 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・言語聴覚士が在籍してくれるとより満足です。 ・親が困っている時にすぐに対応方法を一緒に考えてくれます。 ・ここまできめ細かい配慮をして頂き、感謝しかない。 ・大変満足しています。本当にありがとうございます。 ・これからも変わらぬ支援をよろしくお願い致します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。子どもの笑顔を絶やさないよう、引き続き精進してまいります。 |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 児童発達支援センター くろみ園 | | | | 公表日 | 2026年 2月25日 |
|----------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|-------------|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 15 | | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 15 | | ・利用人数に対して職員配置は基準を十分満たしている状況です。 | ・人数配置が多くなると、子どもの把握等人任せになりがちになる為、その部分が要因となるヒヤリハット事故報告が多くなっています。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 13 | 2 | | ・子ども達が分かって動けるための保育環境づくりに今後も工夫を重ねていきたいと思っています。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 15 | | ・いつどなたが来所されても笑顔と清潔感を感じて頂けるよう、全職員へ目指すべき施設像を掲示しております。 | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 14 | 1 | | ・子ども達がクールダウンできる環境づくりには、もう少し工夫をしていきたいと思っています。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 11 | 4 | ・各行事ごとに職員へもアンケートにて調査を行っています。また、職員面談も年2回は実施しています。 | ・行事の振り返りについて、アンケート調査を行っているが、行事によってはその振り返りがかなり遅い時期に行ってしまうことがあります。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 15 | | ・適宜行っています。 | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 13 | 2 | ・年2回ほど面接する機会を設けて頂いています。 ・上司は良く気にかけてくれる。 | ・個別での対応なので本当に言いたい時には言えない職員も多いのではないかと感じています？ | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 14 | 1 | ・第3者評価を5年に1回ごとに受審しております。その評価結果については、全職員で共有を行い、業務改善に繋げています。また、ガイドラインについても、法人関係者以外の方に参画して頂き、適切に指導が仰げるよう委託もしております。 | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 15 | | ・年間研修計画に基づいて実施しています。回数は多い方と思われれます。 | | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 15 | | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 15 | | ・適宜保護者及び子どもにも参画して頂いて、アセスメントに基づく支援を実践できるよう心がけております。 | | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 15 | | | | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 13 | 2 | ・計画は職員間で共有できる仕組みになっている。作成会議等、職種等を超えて話し合いができる雰囲気になっています。 | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 15 | | | | |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 15 | | ・ガイドラインの遵守は基本として定着していると思う。年間を通して内部研修でガイドラインを学ぶ機会も設けられているのは強みと考えています。 | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 14 | 1 | ・活動プログラムについてはマンネリ化しないよう、チームで話し合いができるよう毎月時間を設けています。 | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 14 | 1 | | | |

| | | | | | | |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 15 | | ・そもそも児童発達支援を運営する上で、基本だと認識しています。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 14 | 1 | ・毎日全職員が参加して朝礼、終礼等で活動等について確認してつながりのある支援が提供できるよう工夫しています。 | ・昨今様々な委員会等を設置することが義務付けられたりする中で、打ち合わせの時間確保が難しくなっている現状があります。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 14 | 1 | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 15 | | | ・これほどまでに記録の種類があつていいのか？もう少し減らさないと、記録に日々追われている感があります。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 15 | | ・そもそも児童発達支援を運営する上で、基本だと認識しています。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 14 | 1 | | ・もう少し誰もが参加できる場を用意しながら、現場でOJTできれば全体の専門性や共通の知識が身につけていくと思います。 |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 15 | | ・自立支援協議会へは松山市及び愛媛県の両方に参画している。また、医療機関等を交えた勉強会なども定期的実施しています。 | |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 15 | | | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 15 | | ・就学先の小学校とは全園児実施しております。 | |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | 15 | | ・城北エリア地区を中心に学習会を開催しています。そこには障害児通所支援事業所のみならず、小中学校、保育園、幼稚園、認定こども園の先生方も参加されています。その他、松山市児童発達支援連絡会も設置されています。 | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | 15 | | 5年に1回第三者評価を受審しております。また、外部研修には年間研修計画を立案し、なるべく多くの職員が参加できるようにしています。 | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。 | 15 | | ・松山市及び愛媛県の自立支援協議会子ども支援部会へ参画しております。 | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | | | | |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 15 | | ・松山市交流保育実施要領をもとに、子どもの発達状況を考慮しながら交流保育の機会を設けるようにしています。また、法人内保育施設へ週2回7名程度の子どもが交流保育を経験しています。また、保育園側から月1回センターに園児が訪問しての交流保育を行っています。 | |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 15 | | ・毎日保護者とはお便り帳のやり取りをしています。 | |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 13 | 2 | | ・職員それぞれのスキルに格差はある。研修内容の見直しは必要。 | |
| | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 15 | | ・例年5月に全保護者対象に説明会を行っています。また、改訂した際には都度行っています。 | |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 15 | | | ・子どもの意志を反映させた支援計画の作成の難しさを感じている。 |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 14 | | ・子どもも同席して、保護者に目の前にいる子どもの気持ちも汲み取って頂くことも狙いとして実施するようにしている。 | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 14 | 1 | | ・定期的には行えているが、回数としては保護者が望む回数ではないのかもしれない。 |

| | | | | | | |
|----------|------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保護者への説明等 | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 15 | | ・兄弟参観日及び兄弟座談会を年1回開催している。また、父親座談会も年1回実施している。 | |
| | 40 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 14 | 1 | ・適宜実施するようしております。 | ・時間調整の難しさがあります。 |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 15 | | ・毎月園だよりを発刊しています。 ・年3回クラス懇談会の実施と個別懇談会を年2回開催しています。 | |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 15 | | ・全職員入職時に誓約書を交わしております。 | ・我々は徹底していると認識していても、関係機関との間で個人情報取り扱いに関して認識の違いがあるように感じている。特に医療と福祉では意識の違いがあるように感じている。ケース会議等なるべく合同で出来たらいいかもしれない。 |
| | 43 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 15 | | | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 14 | 1 | ・法人が開催している福角会祭をはじめとして、夏祭りや運動会等は地域の方々にもお声掛けしている。また、福角地区権現地区の行事にも積極的に協力している。 | |
| | 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 15 | | ・年1回以上左記に記載されているマニュアルの説明や研修会を実施しています。 |
| 46 | | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 15 | | 年1回以上、非常災害時に関する研修と訓練を実施しています。感染症も同様に研修訓練とも実施しています。法人規模でも行っています。 | ・上記（45）で説明した通り。 |
| 47 | | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 15 | | ・個別支援計画にも記載しています。 | ・上記（45）で説明した通り。 |
| 48 | | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 15 | | ・対応していますし、個別支援計画にも記載するようになっています。 | ・上記（45）で説明した通り。 |
| 49 | | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 15 | | ・保護者への周知、職員への周知、安全計画の内容を毎年改定も行っています。 | ・上記（45）で説明した通り。 |
| 50 | | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 15 | | ・保護者への周知、職員への周知、安全計画の内容を毎年改定も行っています。 | ・上記（45）で説明した通り。 |
| 51 | | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 15 | | ・毎日報告を行うようになっています。また、3か月に1回職員会にて検証も行うようになっています。 | ・上記（45）で説明した通り。 |
| 52 | | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 15 | | ・年3回以上は実施しています。また、外部研修と法人内虐待防止研修会にも参加し、内部への伝達研修を行っています。 | ・上記（45）で説明した通り。 |
| 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 15 | | ・保護者への同意書と3か月に1回の見直しを行っています。 | ・上記（45）で説明した通り。 | |

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|----------------|------|-------------------|
| ○事業所名 | 児童発達支援センターくるみ園 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年4月1日 | | ～ 2026年2月13日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 38世帯 | (回答者数) 38世帯100%回収 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年4月1日 | | ～ 2026年2月13日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 15名 | (回答者数) 15名100%回収 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年2月25日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 1 | ・子ども一人一人を大切に思い、チーム一丸となって子ども達の支援を行っているという意識が共有できているという点だと思います。乳幼児期の子どもは遊びを通して育つという基本を崩すことなく、保育力の向上に向けた様々な研修体制が整っているのは強みだと思います。 | ・笑顔と清潔感あふれる事業所を目指しているのですが、少しずつ定着してきているように思います。 ・日頃私たちから、あいさつを必ずすることを心がけています。来訪者のみに関わらず、地域の方々へも同様の気持ちで接することを心がけています。 | ・保育の質を高める上での「専門性」を磨く上で、様々な支援スキルに直結する研修会の充実を図りたいと思います。 |
| 2 | ・事業所の改善点を把握する為に5年に1回第三者評価を受審したり、児童発達支援ガイドラインの評価についても法人外部の第三者の方に参画して頂いて事業所の評価を客観的に頂戴することで、事業所の課題を把握しながら改善に繋げていく仕組みが構築できているところは強みかと思います。 | ・日々の保育の振り返りを徹底していることと、各行事後にアンケート調査をこまめに実施するようにしています。 | ・年間研修計画の見直しです。 |
| 3 | ・保護者支援及び地域支援をより力を注ぎながら行っている点だと思います。 | ・療育等支援事業の活用と、保育所等訪問支援事業の展開。また、障害児相談支援事業の相談支援専門員との連動です。相談支援専門員から保護者とのモニタリングの結果を丁寧に報告して頂くよう意識しています。 | ・地域の各関係機関との顔の見える関係性の更なる構築です。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|----------------------------------------------|------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 1 | ・業務量が多いことを把握しているが、業務改善に向けた取り組みが遅れている点だと思います。 | ・相談件数の増加だと思います。 ・記録等の見直しを行う事です。 | ・地域の障害児通所支援事業所との連携の構築と、障害児相談支援事業所との連携を強化していくことだと思います。 |
| 2 | ・就労世帯に対する預かりの子どもの人数が数名しか出来ない点です。 | ・他の業務も担っているため、預かりの職員の確保が難しい点です。 | ・就労世帯のお子さんの受け入れを増やす為に、療育等支援事業の利用児を調整していくことと、預かり職員の確保が課題だと思います。 |
| 3 | ・医療的ケア児や重症心身障がい児の受け入れが出来ないことだと思います。 | ・各専門職の確保と配置が難しいことだと思います。 | ・松山市城北地域におけるケアニーズの高い子どもたちの、現状の把握から行う必要があると思います。 |